

(1) 自己評価結果の内容の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> - 令和7年度の重点課題に対し、それぞれの実施にむけ具体的な計画を策定し、各課題に取り組み、評価も適切に行われていると思われる。 - 自己評価を全教員で組織的に行っており、結果についても客観的に分析できている。 - 設定した重点目標が明確に記載され、しっかりと取り組まれていたことがうかがえる。自己評価の内容も具体的な内容であるため、学生のために真剣に取り組まれた姿勢が理解できる。 - 厳しい現状や課題を分析し、適切に評価されている。 - 卒業生アンケートや就職先の指導者評価、実習病院管理者への聞き取り調査を通して、多面的な分析が適切に行われている。教育目標の達成状況や課題を明確に把握し、今後の教育改善につなげようとする取り組みは適切である。 成績評価や模擬試験、国家試験結果、卒業時アンケートなど活用し、教育課程編成の評価が適切に行われている。課題を明確にし、改善の方向性も示されており、適切な評価である。			

(2) 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> ・ 自己評価に基づき、各重点課題における問題点の抽出がなされ、令和 8 年度の重点課題とし、今後の改善策や方向性について計画されており、適切であると思われる。 ・ 各科目の成績だけでなく、模擬試験や国家試験の結果、卒業時アンケートを踏まえた課題が検討されている点が評価できる。 ・ 達成できたこととできなかったことが詳細に記載されており、それらに対する改善策もしっかりと検討されているため、適切であると考ええる。 ・ 分析し適切な改善策が計画されている。 ・ 学生の SNS 利用の実態や実習環境を踏まえ、個人情報取り扱いに関する指導計画が適切に見直されている。 学年や実習段階に応じた指導内容が整理され、情報リテラシーや倫理観の育成を図る取り組みとして適切である。			

(3) 学校の重点課題や評価項目等の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> - 卒業後の調査で得られる、学生と社会人との考え方の違いや必要な知識等を教育現場で生かせる点から、重点課題として設定されており、適切な計画がなされていたと思われる。 個人情報保護は重要な問題であり、個人情報の取り扱いについては、特に注意が必要であることから、事例等の見直しを図り、適切な指導計画がなされていると思われる。 - 国家試験の合格率は、在校生のみならず貴校への進学を考えている高校生にとっても大きな関心事であるので、マニュアルの見直しを検討されている点は評価できる。 - 重点課題の設定に必要な資料やデータをしっかりと収集されており、適切に課題設定がされていると思う。評価項目も学生の事を考慮された内容になっていると思う。 - 出題傾向の難化などに対応できるよう、見直しが検討されている。 合格率100%を掲げ取り組まれている。 - 学生確保に向けた課題を踏まえ、体験事業やSNSによる情報発信、広報活動など多角的な対策が積極的に実施されている。成果と課題を適切に分析し、関係機関との連携も視野に入れた今後の方向性が示されており、適切な取り組みができていると評価する。			

(4) 学校運営の改善に向けて実際の取組みの適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> - 令和7年度においては、教育課程評価ガイドラインに沿った評価・個人情報取り扱いに関する指導計画の見直し・学生確保のための対策の検討を重点課題として取り上げ、点検・評価の基、改善に向けた取組みが示されており、適切と思われる。 - 入学段階における学力差は大きな課題であると見受けられるが、目標を下げないで対応を図ろうとする姿勢がありがたい。 - ふれあい看護のターゲット層の拡大やInstagramの活用、グッズの制作など魅力的な対策がとられていると思う。学校での取組みなどを外部に発信することは、学校運営の改善に有効だと思う。 - 看護師の育成という目的のほか、学生の確保、学校や看護の魅力発信など様々な取組みを実施されている。 - 教育課程の改善や教育評価、学生指導、学生確保対策など、学校運営改善に向けた取組みが計画的かつ組織的に実施されている。各取組みについて成果と課題を適切に分析し、改善に向けた取組みは適切に行われていると評価する。			

(5) その他

学校関係者評価

＜ご意見・ご指摘・ご提案＞

- ・ 令和8年度の重点課題として二つの課題を策定されているが、少子化の問題や若者の地域離れなどにより、学生の確保が年々厳しくなっている状況である。今年度も関係機関や行政にも強力に働きかけていく必要があると思う。学生確保のための対策を進めて欲しい。
評価の中で「明らかになった課題の改善に向けて取り組む」とか「見直していく必要がある」とか「働きかけていく必要がある」と評しておられるが学校関係者評価委員としては、具体的に評価内容について、今後どのように対応していかれるのかを知りたいところである。
- ・ 地域医療の担い手、少子高齢化対策の観点からも貴校の存在は宇和島市にとって不可欠である。学生確保に向けて今後とも尽力いただけるようお願い。
- ・ 看護師不足の世の中で、地域に看護学校がある事が重要だと思う。少しでも看護師という職業に興味がある人に対し、宇和島の魅力を伝えて学生確保につなげてもらえたらと思う。
- ・ 2040年問題が懸念されているが、深刻な人材不足という点は直面化している問題である。人口減少・少子化など著しい中、毎年県内、南予地区で働く看護師を育成されている事を同地域で働く一人として嬉しくて心強く感じている。
- ・ 人口減少や少子化が進む中、行政や医療機関、地域との連携を一層強化し、地域全体で看護人材の確保・育成に取り組むことが望まれる。併せて、学校の特色を積極的に発信し、教育の質の向上と学生確保に継続して取り組まれることを期待する。